

## 平成21年度病害虫発生予報第5号（水稲特集号）の発表について

向こう1か月の水稲病害虫の発生動向についての病害虫発生予察情報及び病害虫防除に関する栽培管理について解説します。

### 【病害虫防除の主な留意点】

- ・ 気象庁が発表する1か月予報では、北海道から九州北部にかけて日照時間が少なく、日本海側では降水量が多いと予報されています。
- ・ 病害虫防除を効率的に実施するためには病害虫の発生状況を的確に把握し、的確な防除につなげることが大切です。病害虫の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って、適切な防除を行ってください。
- ・ なお、薬剤による防除を実施する場合には、病害虫が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。また、散布対象外の農産物に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。

### 【用語の解説】

#### 【発生量（程度）】

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅  
（平年値は過去10年間の平均）

#### 【地域】

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県  
北東北：青森県、岩手県、秋田県  
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県  
北関東：茨城県、栃木県、群馬県  
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県  
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県  
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

## 【水稲の病害】

### 早期水稲

- ・ **穂いもち**の発生は、関東の一部地域で「やや多い」と予想されます。また、本病は、出穂前後に降雨が続くと発生が助長されます。早期水稲は概ね出穂期を迎えているので、上位葉に葉いもちの病斑がみられる場合は穂いもちの発生が懸念されます。穂ばらみ期及び穂揃い期に薬剤防除を実施し、必要に応じて穂揃い期7～10日後の追加防除を実施してください。
- ・ **紋枯病**の発生は、「平年並」と予想されますが、本病は、梅雨明け後に高温・多湿が続くと発生が助長されます。また、前年に発病が多い場合は、本病が多発する可能性があるため注意が必要です。本病は病勢が少しずつ進展することから、発生がある程度認められてからでも薬剤防除を行うことが可能です。穂ばらみ期から出穂期に発生を認めた場合は、発生状況に注意して適期に薬剤防除を実施してください。多発時や出穂期以降に病勢の進展が懸念される場合は、穂揃い期頃の追加防除を実施してください。

### 普通期水稲

- ・ **葉いもち**の発生は「平年並」と予想されますが、本病は好条件下で急速に蔓延するので、都道府県病害虫防除所から発表される感染好適日を参考に本田の見回りを実施し、早期発見に努めてください。なお、本病の初発時期の遅延や発病程度を下げることを期待して育苗箱施用剤を使用した場合であっても、地域・気象条件によっては十分効果が得られない場合があるので、ほ場内の発生状況に注意してください。本病の発生を認めた場合は、適期に薬剤防除を実施してください。葉いもちの発生が多く、出穂期前後に降雨が続くと穂いもちの発生が助長されます。上位葉に葉いもちの病斑がみられる場合は穂いもちの発生が懸念されるので、穂ばらみ期及び穂揃い期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **紋枯病**の発生は、「平年並」と予想されますが、本病は梅雨明け後に高温・多湿が続くと発生が助長されます。前年に発病が多い場合は、本病が多発する可能性があるため注意が必要です。本病は病勢が少しずつ進展することから、発生がある程度認められてからでも薬剤防除を行うことが可能です。穂ばらみ期から出穂期に発生を認めた場合は、発生状況に注意して適期に薬剤防除を実施してください。多発時や出穂期以降に病勢の進展が懸念される場合は、穂揃い期頃の追加防除を実施してください。

- ・ **縹葉枯病**は、中国の一部地域で「多い」又は「やや多い」、東海及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本病はヒメトビウンカにより伝搬され、特に幼苗期に感染しやすいため田植えの遅い地域は注意が必要です。また、幼穂形成期以降に本病に感染すると穂の出すくみや不稔が多くなります。ヒメトビウンカの縹葉枯病ウイルス保毒虫率が高い値になっている地域や本病が発生している地域では、本田でヒメトビウンカの発生を確認したら、早期に適切な薬剤防除を実施してください。また、その後の伝染源となる発病株は、抜き取るようにしてください。

## 【水稲の害虫】

- ・ **セジロウンカ**の発生は、南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本害虫の防除は飛来した早期から防除を行うことが有効です。なお、本害虫は薬剤抵抗性を発達させた個体を確認されていますので、薬剤防除の際には病虫害防除所等から出される情報を参考に薬剤の選択を行ってください。
- ・ **トビイロウンカ**の発生は、早期水稲では南関東の一部地域で「多い」と予想されます。普通期水稲では南九州（宮崎）の一部地域で「多い」と予想されます。本害虫は水田に侵入後急激な密度上昇により被害を起こします。なお、本害虫は薬剤抵抗性を発達させた個体を確認されていますので、薬剤防除の際には病虫害防除所等から出される情報を参考に薬剤の選択を行ってください。
- ・ **ニカメイガ**の発生は、北陸及び近畿の一部地域で「多い」、東海の一部地域で「やや多い」と予想されます。病虫害防除所から発表される発生予察情報等で防除適期を確認し、適期に薬剤防除を実施してください。
- ・ **斑点米カメムシ類**の発生は、早期水稲では九州の一部地域で「多い」又は「やや多い」、関東、東海及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。普通期水稲では東海及び北陸の一部地域で「多い」、近畿、中国、四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。また、本害虫の被害軽減には、休耕田、畦畔及び水田周辺の雑草管理が重要です。出穂期直前の草刈りは、本害虫の本田への飛び込みを助長し、被害を増加させるおそれがあるので避けてください。主要な斑点米カメムシ類の構成が地域によって異なるので、病虫害防除所から発表される発生予察情報等で防除適期を確認し、薬剤防除を実施してください。

## 【その他】

前回発表（平成21年7月9日）以降、各都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は下記のとおりです。

### 警報

発表月日	都道府県名	作物名	病虫害名
発表なし			

### 注意報

発表月日	都道府県名	作物名	病虫害名
7月9日	千葉県	なし	黒星病

( 3 / 4 )

7月15日	石川県	稲	斑点米カメムシ類
7月15日	千葉県	稲	斑点米カメムシ類
7月15日	滋賀県	稲	ニカメイガ
7月21日	岩手県	稲	ばか苗病

## 特殊報

発表月日	都道府県名	作物名	病害虫名
7月16日	千葉県	トマト	トマト茎えそ病 (CSNV)
7月22日	山口県	トルコギキョウ	トルコギキョウえそ輪紋病 (IYSV)

### <平成 21 年度の病害虫発生予報の発表日>

- 第 1 号： 4 月 23 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 2 号： 5 月 14 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 3 号： 6 月 11 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 4 号： 7 月 9 日 (木曜日) . . . 発表済み
- 第 5 号： 7 月 23 日 (木曜日) . . . 今回発表
- 第 6 号： 8 月 6 日 (木曜日)
- 第 7 号： 9 月 10 日 (木曜日)
- 第 8 号： 10 月 8 日 (木曜日)
- 第 9 号： 11 月 12 日 (木曜日)
- 第 10 号： 2 月 18 日 (木曜日)

#### お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課  
 担当者：防除班 大岡、金武  
 代表：03-3502-8111 (内線 4562)  
 ダイヤルイン：03-3502-3382  
 FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL  
<http://www.maff.go.jp/j/press/>